

平成 29 年 9 月 6 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

「第 20 回 防災文化講演会」開催のご案内
テーマ：災害伝承と博物館展示
（9 月 16 日（土）午後）

このたび、東北大学災害科学国際研究所は気仙沼市内にて、「災害伝承と博物館展示」をテーマに、第 20 回防災文化講演会を下記のとおり開催いたします。

当研究所は、平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、同年 10 月には気仙沼分室（通称：気仙沼サテライト）を気仙沼市内に設置し、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでまいりました。防災文化講演会はこのたび 20 回目となりますが、今回も、市民の皆様との情報交流の機会として開催いたします。

ご多忙中と存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。なお、ご取材にあたっての事前申し込みはご不要です。

詳細は以下のとおりです。

- 1 日時：平成 29 年 9 月 16 日（土）13 時 00 分～15 時 50 分（開場：12 時 30 分）
2. 会場：気仙沼中央公民館（気仙沼市魚市場前 1-1）
3. 主催：東北大学災害科学国際研究所
共催：気仙沼市

4. 趣旨:

東北大学災害科学国際研究所と気仙沼市のさらなる協力関係の強化と情報交流のため、本研究所が推進する防災・減災に関わる最新の調査・研究の成果に基づく災害科学情報を、気仙沼市や近隣にお住まいの方々ならびに関連する活動を実施されている方々に向けて発信する。

5. 対象: 一般向け(参加申込 不要)

6. 次第:

開会挨拶(13:00-13:05)

東北大学災害科学国際研究所 教授 川島 秀一

講演(13:05~15:05, 40分×3)

(1) 災害はどのように伝えられてきたか

東北大学災害科学国際研究所 教授 川島秀一

(2) リアス・アーク美術館における災害資料常設展示の独自性について

リアス・アーク美術館 学芸係長 山内宏泰 氏

(3) 災害常習地の生き方を残すこと・展示すること

国立歴史民俗博物館 特任助教 葉山茂 氏

(途中休憩 10分)

質疑応答・会場討論(15:15~15:45)

コーディネーター:東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤翔輔

閉会挨拶 気仙沼市総務部危機管理課

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 気仙沼分室
ワーキンググループ

mail: kesenuma@irides.tohoku.ac.jp

tel: 022-752-2151 (担当・川島秀一)